

(様式1) <b>平成19年度 事務事業評価表</b>						
記入年月日	平成19年3月29日	記入者		連絡先	5627	
平成18年度部名	保健所	課名	中央保健センター	課長名	鈴木 豊子	
平成19年度部名	保健所	課名	中央保健センターを含む3センター	課長名	鈴木・岩元・栗原	
事務事業名	母子健康教育事業					
予算上の事務事業名	母子健康教育事業					
1 総合計画における位置づけ	施策コード			13120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます					
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進					
施策名	第2施策 子育て支援の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	母子保健法、相模原市母子保健事業実施要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	相模原市母子保健計画			相模原市保健医療計画における母子保健分野の計画として位置付け、取り組みに向けて目標設定をしているもの。		
計画年次	15	年度～	22	年度		
4 事業形態の区分	研修・講座			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					
妊娠・出産又は育児に関して、正しい理解を深め、その健康の保持・増進をすすめるため個別的に集団的に母子保健に関する知識の普及や仲間作りを行い、すべての親と子が、心身ともにすこやかに、豊かに育つよう適切な情報提供や情報交換を行う。				(2) 対象(誰、何)		
				妊産婦と乳幼児を子育て中の保護者及び家族		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
ハローマザークラス：妊娠・出産・育児に関する知識・技術の習得と仲間づくり3日間コース(4会場・18コース実施)						
赤ちゃんセミナー：赤ちゃんの発育にあった離乳食の講習会(4会場・62回実施)						
元気キッズの食育セミナー：子どもの生活習慣病予防のための教室2日間コース(4会場・14コース実施)						
ひばり教室：1歳6か月児健診等の事後指導教室(2会場48回実施)						
つばさクラブ：3歳6か月児健診等の事後指導教室(2会場・24回実施)						
ことり教室：1歳6か月児・3歳6か月児健診等の事後指導教室(2会場・42回実施)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
他自治体も同様の事業を実施している。						
8 事業費の推移 <span style="float:right">〔単位：千円〕</span>						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	2,586	2,626	3,892	5,106	5,106	
一般財源	1,858	2,626	3,892	5,106	5,106	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	728	0	0	0	0	
人件費の合計	8,387	7,993	11,989	14,654	14,654	
事業コスト合計	10,973	10,619	15,881	19,760	19,760	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	ハローマザークラス			対象名称 と単位	参加人数(人)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	175	195	269	391	391	
対 象 数	2,932	2,946	2,876	3,180	3,180	
単位あたり経費(円)	60	66	94	123	123	
前 年 度 比		1.11	1.41	1.31	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	ハローマザークラスの参加人数（人）	指標式と指標の説明	参加人数/参加計画人数（対象者とその家族）1回80名（相模湖、津久井、藤野、城山は各10名）として計画		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	2,932.0	2,946.0	2,876.0		
目標	3,840.0	2,880.0	3,060.0	3,180.0	3,180.0
目標達成度（%）	76.4	102.3	94.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	ハローマザークラスの参加人数（人）	指標式と指標の説明	参加人数/参加計画人数 教室の目的である仲間作りは、出産後の育児支援に大きな役割を果たすため		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	2,932.0	2,946.0	2,876.0		
目標	3,840.0	2,880.0	3,060.0	3,180.0	3,180.0
目標達成度（%）	76.4	102.3	94.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		少子化・核家族化がますます進行する中、育児不安を抱える保護者が増加し、児童虐待などが社会的にも大きな問題になっており、育児を楽しめる環境づくりが求められている。知識や技術の習得のみならず、仲間づくり、地域づくりなどの育児支援を教育の切り口で実施することは、重要である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 育児の先輩ママや同じ悩みを持つ保護者などによるピアカウンセリングの手法を積極的に取り入れるようにするとともに、地域の人材育成も今後必要である。			1 5 課題として認識されたこと ・不参加者に対する情報提供や仲間づくり ・母親以外の父親・家族に対する働きかけ方の検討 ・人材育成 ・旧津久井地域の参加者が少ない		
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課長による評価のとおり、育児環境の充実を図る方向で、事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			